

2022 年度 事業報告書（案）
(2022 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター

1. 事業の報告

新型コロナウイルス感染症の影響が減少した一方、各種困難事例の増加の傾向が見られた。そのような状況下でも各事業、一般就労をはじめとした進路の決定、その後の定着化、他機関等との連携、通所率の向上等の目標を達成するなど、一定の成果が見られた。

職員研修などの人材育成にも力を入れ、各職員の業務・支援スキルや役割意識の向上によって、より主体的で円滑な事業運営や業務遂行、連携が実現した。

また、外部とも各種事業等を通して連携を深めた他、新たに就労移行支援事業所中心のネットワークを発足させ、他事業所や企業等との協働のための基盤を築いた。

さらに、今後のより効果的な支援提供や組織運営の実現を目指し、一部事業の所在地の移転について具体的準備を進めた。

(1) 就労移行支援事業

①利用者実績

	2022 年度 実績	2021 年度 実績
利用者数（年間・延べ）	35 人	34 人
利用者数（3/31 時点）	20 人	18 人
平均利用者数（1 日当たり）	16.1 人	15.8 人
平均通所率（年間）	85.4%	集計なし
新規一般就労者数	7 人	10 人（+A 型 2 人）
新規一般就労 6 カ月達成者数	8 人	9 人
見学者数	36 人	36 人
新規利用登録者数/体験者数	17 人(+就労アセスメント 5 人)/22 人	15 人(+就労アセスメント 3 人)/19 人

②支援について

- ・ 利用者の個別性を重視し、多くの困難事例に対し就労準備性の向上につながる支援を検討・実施し、多数の利用者を一般就労等に結び付けた。
- ・ 三重県障がい者委託訓練事業を 4 年連続で受託し、新たな就労先等の開拓や企業との連携、利用者の一般就労が実現した。
- ・ 会議をはじめ職員間での連携や共有、意見交換がより活発に行われ、各利用者の多角的な理解や支援につながった。

③外部との連携

- ・従来の連携会議への参加（自立支援協議会、ハローワーク等主催）に加え、新たに市民社会研究所の「つながりの仕事おこし」事業を共催し、情報共有や新たな就労先の開拓等が実現し、結果利用者の一般就労が複数実現した。
- ・当事業所が呼びかけ人・世話人代表となって「四日市障がい者就労移行支援事業所ネットワーク会議」を発足し、事業所間の垣根を越えて連携するための基盤を築いた。
- ・特別支援学校や専門学校等からの生徒の施設見学や実習、就労アセスメント等の依頼が増加した他、そこから新規利用登録につながったケースも複数見られた。

④実地訓練（伊勢おやき、スプラウト、なやプラザ 等）

延べ 43 人が訓練を実施。

継続的な訓練を通して利用者の特性の理解や就業スキル・習慣の向上につながった。

（2）就労継続支援 B 型事業

①利用者実績

	2022 年度 実績
利用者数（年間・延べ）	5 人
利用者数（3/31 時点）	4 人
平均利用者数（1 日当たり）	2.0 人
平均通所率（年間）	63.8%
見学者数	18 人
新規利用登録者数/体験者数	2 人/4 人
平均工賃月額	17,784 円

②支援について

- ・伊勢おやき本舗、トレーニングカフェ Sprout 等の現場と連携をより強化し、利用者の訓練内容の幅が広がった。
- ・従来以上に利用者のスキルや体調等の個別性を重視し、丁寧なコミュニケーションを通じた段階的な支援を実施した。また利用者同士のコミュニケーションを重視し促すことで、利用者の自主性・協調性の成長に寄与した。
- ・作業を通して各利用者の就業上の習慣・スキルが拡大し、安定的な就労の機会や工賃の提供に寄与した。
- ・サポステや特別支援学校、外部事業所（放課後等デイサービス）等からの見学者・訓練生の受け入れが増加し、より連携が深まった。

③売上等の回復

新型コロナウイルス感染症の影響が昨年度よりも落ち着き、商品の売り上げや定期販売場所・イベント出店が増加し、新規利用者受け入れ拡大の方針につながった。

(3) 就労定着支援事業

①利用者実績

	2022年度 実績
利用者数（年間・延べ）	10人
利用者数（3/31時点）	7人
平均利用者数（1月当たり）	8.7人
新規利用登録者数	2人

②支援について

- ・毎月綿密な情報収集や相談支援を行い、利用者の多くがそれぞれの職場での安定的な定着を実現できた。特に利用者の危機時には積極的に企業訪問や電話でのやりとり等を行い、その後安定し就労を継続できる事例もあった。
- ・利用者や企業担当者に対して相談や仲介・調整等の支援を行いつつも、適宜原則である雇用関係について確認・説明を行い、段階的に二者間のコミュニケーションが円滑に行えるよう工夫・配慮を行った。
- ・利用終了者も、前向きな理由での離職によるものが多かった。

③新規利用者の獲得

ユニバーサル就労センターから一般就労をした対象者のうち、比較的就労定着上の課題が大きい人を優先的に本事業の利用につなげた。常時上限人数まで利用者の受け入れを行い、利用者数を維持することができた。

(4) 生活訓練事業（虹のふもと）

①利用者実績

	2022年度 実績
利用者数（年間・延べ）	11人
利用者数（3/31時点）	6人 + 日中一時支援：2人
平均利用者数（1日当たり）	3.7人
平均通所率（年間）	50.3%
見学者数	13人
新規利用登録者数/体験者数	6人/9人 + 日中一時支援：2人

②支援について

- ・担当職員間でフォローをし合い、利用者の個別的ニーズを重視した丁寧な対応や相談支援を実施した。その結果、全体として通所日数が増加した。
- ・平均通所率（月間）が段階的に上昇し、10月以降は50%以上を維持した。
- ・体調や通所が安定しない利用者に対し、自宅等への訪問支援や在宅支援を実施し、参加の機会を確保した。
- ・特定相談支援事業とも連携し、3名の利用者を発展的な次の進路へとつなげた。

③新規事業の開始

11月から日中一時支援事業を申請・開始し、訓練の前段階である居場所としての機能を拡充した。

(5) 特定相談支援事業（相談支援事業所ライツ）

①利用者実績

	2022年度 実績
契約者数（3/31時点）	49人
平均契約者数	52人
新規契約者数	22人
平均報酬月額	282,965円
特定相談支援等体制強化補助金	910,416円

②支援について

利用者の障害福祉サービス安定利用に向け、本人の視点に立った相談支援を丁寧に行った。特に利用者の希望や意向を大切にし、自己選択・自己決定を重視した支援を行った。

③他事業所・機関等との連携

法人外からの利用者の受け入れを積極的に行った（新規契約者15/22人）。支援等を通じて他事業所や関係機関と密に連携する機会が増加し、良好な関係の構築が実現した。その結果、法人内の通所サービスの新規利用につながったケースもあった。

④スキル向上と業務改善

- ・未経験事例を積極的に受け入れる事により、相談支援スキルの向上につながった。
- ・主体的な研修参加・学習により、相談支援専門員としての専門知識が向上した。
- ・ICTを積極的に活用・導入することで業務改善を行い、スケジュールやタスク等の管理スキルが向上した。

(6) 三重県障がい者委託訓練事業

37 社開拓。そのうち訓練実施数 13 件、11 人就職。

- ・ 訓練受託企業等の開拓
- ・ 制度利用希望求職者の掘り起こし
- ・ 訓練生、企業、県、ハローワーク、地域若者サポートステーション、就労系障害福祉サービス事業所等との連携
- ・ 市民社会研究所と共催した「つながりの仕事おこし」事業、四日市障がい者就労移行支援事業所ネットワーク会議との連携
- ・ 訓練カリキュラムのコーディネート、進捗状況の把握と助言

(7) 四日市市障害者体育センター指定管理（共同運営）

- ・ 利用率向上のための工夫の検討、体制や設備の整備・改善

【全体事項】

- ・ 各職員の業務・支援上のスキルの向上や役割意識の向上によって、より円滑で主体的な業務遂行や連携が実現。
- ・ 各事業において困難事例が多い中、一般就労やその他進路の決定、利用者主体の自立支援、他機関との連携等、一定の成果あり。
- ・ 利用者通所率が、全体的に上昇傾向。
- ・ 人材育成のため、障害者支援施設職員向け会員制 e ラーニングサービス「サポーターズカレッジ」を導入。対象も全職員に統一し、法人としての支援スキルの向上を図った。
- ・ 個別支援計画やモニタリング等について、可能な範囲で各受持ち担当者がサービス管理責任者とともに内容などを検討。
- ・ 四日市障がい者就労移行支援事業所ネットワーク会議を発足させ、今後の他事業所や関係機関・企業等との連携のための基盤を構築。
- ・ 事業所移転のための具体的準備

【全体の課題】

- ・ 利用者の就労等の準備性の向上。職員支援スキル向上の他、個別支援の PDCA サイクルを今後さらに実効性のあるものにしていく必要あり。
- ・ 中長期的視野に立った利用者の安定的な確保、広報の充実
- ・ 各事業における、外部との連携の更なる強化
- ・ 四日市障がい者就労移行支援事業所ネットワーク会議の今後の段階的発展・広がり
- ・ 職員の労働環境や処遇の改善、人事評価制度の改変、モチベーションや健康の維持・向上のための取り組み・工夫の検討
- ・ 移転後の業務の早期安定化、新たな職員間連携の仕組みの検討

2. 事業の実施に関する事項

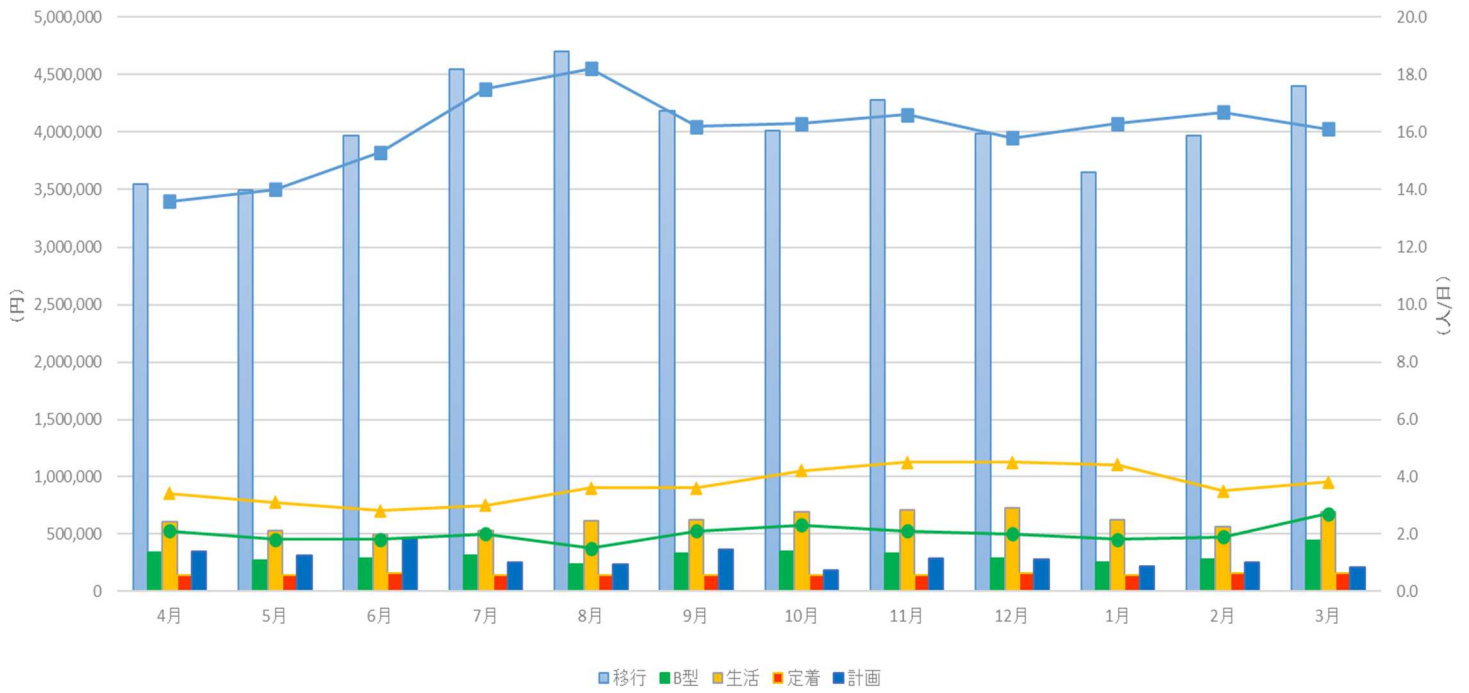
(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従業者の 予定人数	受益対象 者の範囲 及び予定 人数	支出見込み (千円)
障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス等の事業	①就労移行支援事業 ②就労継続支援 B 型事業 ③就労定着支援事業 ④生活訓練事業 ⑤特定相談支援事業 ⑥その他の事業 ⑦四日市市障害者体育センターの指定管理（共同運営）	2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	①②③④⑤⑥ ユニバーサル 就労センター ⑦ 四日市市障害 者体育センタ ー	14 人程度	四日市市 及び近隣 の障害者 等	4 6, 8 2 8

(2) その他の事業

なし

2022年度 事業所別収益と平均利用者数



2022年度 事業所別利用者出席率

